

科目名	老年看護学演習Ⅱ Gerontological Nursing Seminar Ⅱ			担当教員 (研究室番号)	小松 美砂 (301)		教員への連絡方法 (メールアドレス)				
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目	選択 区分	領域 必修	単位数 (時間)	3(45)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
										遠隔授業	否
科目目的	健康な高齢者への看護介入と、健康障害をもつ高齢者への看護介入について探究する。また、看護介入の実施についてプレゼンテーションを行い課題を検討することにより、高齢者への看護介入からみた老年看護の独自性について考える機会とする。										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年看護の実践の場の特徴について説明できる。</li> <li>2. 高齢者への看護介入の特徴について説明できる。</li> <li>3. 自己のテーマを設定し、看護介入の実践について計画を立案することができる。</li> <li>4. 看護介入の結果を発表し、分析の上、課題を述べるすることができる。</li> <li>5. 看護介入を通して、老年看護の独自性について自己の見解を述べるすることができる。</li> </ol>										
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション40%、レポート40%、演習に取り組む姿勢20%										
教科書	特に指定しません。										
参考書等	Ebersole P., Hess P. et al (2015): Toward Healthy Aging: Human needs & nursing response. 9th ed, Mosby.										
受講者への メッセージ	主体的・積極的に参加することを期待します。										
備考											
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法	
1回	老年看護の実践の場①				医療機関、福祉施設、地域における老年看護の現状と再確認し、今後の課題について考察する。				小松	演習	
2回	老年看護の実践の場②				医療機関、福祉施設、地域における老年看護の実践に関わる多職種連携や、地域包括ケアについて考察する。				小松	演習	
3回	高齢者への看護介入の特徴①				高齢者にとっての健康課題とは何か、健康課題を支えるための看護介入はどのように行う必要があるかについて考察する。				小松	演習	
4回	高齢者への看護介入の特徴②				高齢者の健康課題を支えるための看護介入を実践する際の留意点について考察する。				小松	演習	
5回	高齢者への看護介入の特徴③				高齢者の健康課題を支えるための看護介入について、臨床での実践例を発表し、より効果的な看護介入のあり方について検討する。				小松	演習	
6回	看護介入計画の立案①				看護介入計画の立案において、高齢者にとっての健康課題を明確化する。その際、根拠となる先行研究を検討する。				小松	演習	
7回	看護介入計画の立案②				看護介入計画の立案において、チーム医療の目標及び看護目標を明確化する。その際、根拠となる先行研究を検討する。				小松	演習	
8回	看護介入計画の立案③				看護介入計画の立案において、対象の特性とともに、介入の目的を明確化する。その際、根拠となる先行研究を検討する。				小松	演習	
9回	看護介入計画の立案④				看護介入計画の立案において、看護介入を実施する際の手続きや、倫理的配慮を明確化する。その際、根拠となる先行研究を検討する。				小松	演習	
10回	看護介入計画の立案⑤				看護介入計画の立案において、看護介入方法を選択する。その際、根拠となる先行研究を検討する。				小松	演習	
11回	看護介入計画の立案⑥				看護介入計画を先行研究とともにレポートとして提出できるよう完成させる。				小松	演習	
12回	実践の場における看護介入①				立案した看護介入計画を実践の場を用いる際の具体例を発表し、介入の留意点等を検討する。				小松	演習	
13回	実践の場における看護介入②				立案した看護介入計画を実践の場を用いた具体例について、介入方法をどのように実践したかを詳細に提示し検討する。				小松	演習	
14回	看護介入の分析・評価①				看護介入計画に基づき実施した看護について、先行研究を用いて分析する。				小松	演習	
15回	看護介入の分析・評価②				看護介入計画に基づき実施した看護について、先行研究を用いて評価する。				小松	演習	
16回	看護介入の成果と課題①				実施した看護介入の成果を明確化し、さらに今後の課題について検討する。				小松	演習	
17回	看護介入の成果と課題②				看護介入計画の立案と実施についてプレゼンテーションを行い、自己の学びと課題を明確化する。				小松	演習	
18回	高齢者への看護介入からみた高齢者看護の独自性				高齢者への看護介入を通して考察した老年看護の役割および独自性について検討し、レポートとして提出する。				小松	演習	

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
19回	高齢者への介入研究の動向と課題	高齢者に対して行われている介入研究について、先行研究の動向を分析し、高齢者に対して行う介入研究が有する課題について総合的に分析する。	小松	演習
20回	老年看護に関する質的研究①	老年看護に関する複数の質的研究（英文を含む）をクリティークし、研究の動向について検討する。	小松	演習
21回	老年看護に関する質的研究②	老年看護に関する質的研究の特徴を明確化し、今後必要となる研究とそこでの課題について検討する。	小松	演習
22回	老年看護に関する量的研究①	老年看護に関する複数の量的研究（英文を含む）をクリティークし、研究の動向について検討する。	小松	演習
23回	老年看護に関する量的研究②	老年看護に関する量的研究の特徴を明確化し、今後必要となる研究とそこでの課題について検討する。	小松	演習